



泉水山

真庭市立河内小学校だより
R7年度 第24号
令和8年2月2日(月)発行

ご参観ありがとうございました

1月22日(木)は3学期最初の参観日と学級懇談でした。厳しい寒さの中、ご来校くださり、ありがとうございました。

2年生は図工科の作品づくりにつながる「カッターナイフの使い方の練習」、3年生は学年PTA活動として親子で「紙飛行機とアイスクリーム作り」を楽しみました。4年生は図形の面積の学習で、教室や特別教室の床面を実測し、面積を算出していました。5年生は家庭科の炊飯実習を発展させた「ご飯と汁物づくり」をして、保護者の方へ味わっていただいていたいました。練習の成果が反映され、一段とおいしくできていました。6年生は「自分の夢」について展望をもつ学習でした。小学校卒業と中学校進学を目前に控え、改めて「自分がやりたいこと」や「自分が好きなこと」について思いをはせて考えていました。

当日は落合振興局の保健師さんや学区内の民生児童委員の皆様も来校して、子どもたちの様子を参観してくださいました。どの学年も落ち着いて学習や活動に取り組んでいる様子を見ていただくことができました。



3・4年生が「点字」を体験しました

1月26日(月)、3・4年生が社会福祉協議会の方を講師に、点字学習に挑戦しました。点字については、2学期の視覚障害についての学習の際、コミュニケーションツールの一つとして教えていただきましたが、実際に体験するのははじめてでした。

子どもたちは「点字表」を見ながら、点筆で1音ずつ点字を打つ作業に集中して取り組んでいました。合わせて、社会福祉協議会の方が持参してくださった点字の絵本も手に取り、点字や凹凸での表現を楽しんでいました。子どもたちには、こうした体験を通じて、情報発信の手段として様々なツールがあることを知り、適切に使える力を身に付けてもらいたいと思います。



3・4年生「防災授業」

1月28日(水)、3・4年生が出前講座「防災授業」を受講しました。今回は「大地震が起こった時の命を守る行動と備え」について教えていただきました。先月の地震の印象が強く残っていることもあり、子どもたちは終始



よく集中してお話を聞いていました。

通常の波と津波を比較再現する実験動画を見た際は、その違いに大変驚き、津波からは「いちはやく逃げる」ことの大切さを実感しました。その後、多くの日用品の中から、災害時に必要なもの3つをグループで話し合っ選ぶという活動に取り組みました。なぜそれが必要だと思うのか、活発に意見を出し合いながら、3つのものを選んでいました。

各家庭で「非常持出袋」に常備しておくものは違うと思うので、家族とよく話し合っ準備をしておくことや、家族と一緒にいない時に地震が起こった際の連絡方法や集合場所などを話し合っ決めておくことが大切、と教えていただきました。子どもたちの学びをご家庭でも活かしていただけたら幸いです。

高学年の箏の学習が始まりました

本校では、毎年特別非常勤講師の先生に高学年の箏指導をしていただいています。6年生が4時間、5・4年生が3時間ずつです。1月29日(木)が初日でしたが、6年生は自分たちから「授業開始に遅れないよう、早めに教室を出て音楽室へ移動しよう。」と行動を始め、始業のチャイム前には全員正座をして姿勢を整えていました。箏学習への意気込みが感じられますね。

教材はどの学年も「さくら」ですが、それぞれの学年に応じて講師の先生がアレンジしてくださっていて、難易度は違います。正座を保ったり、日頃慣れ親しんでいる鍵盤楽器の演奏とは異なる難しさもあつたりしますが、高学年の子どもたちが一生懸命取り組む姿はすばらしく、講師の先生もたびたび褒めてくださいます。最終日には、どこまで仕上がるのか、とても楽しみです。



正しい方法でトラブルを解決しよう



1月23日(金)朝の時間に音楽室にて、人権教育担当から「いじめ」について話をしました。した側は遊びや冗談のつもりでも、された側の受け止め方が重視されるということや、「どんな理由があつても、いじめは絶対に許されないこと」を再度確認しました。

また、トラブルで感情的になりそうな時でも、暴言や暴力によるのではなく、正しい方法で解決することが大切、と伝えました。その後、貸与タブレット

の使い方や、ICT機器を使った「発信」についての注意点も話をしました。

その後は教室に戻り、各学年の実情に応じて「トラブル時の正しい解決方法」について具体的に話し合いました。音楽室でも各教室でも、真剣に話を聞いたり、話し合ったりしている姿が見られ、子どもたちの成長を感じました。